

平成16年度 臨床研修指導医(保健所)養成コース

1. 目的

平成16年度より医師臨床研修制度が抜本的に改革され、診療に従事しようとするすべての医師が、2年間臨床研修を受けることが義務づけられることとなった。これに併せて、臨床研修内容の検討が進められ、「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について(医政発第0612004号 平成15年6月12日)」の中で、地域保健・医療を必修科目とし臨床研修2年次において研修期間1月以上とされた。

しかし、地域保健・医療の中核を担う保健所には、臨床研修を行うべき臨床研修指導医及び研修機能が整っておらず、全国的に一定水準以上の研修機能を養成する必要性が国の責務としてある。国立保健医療科学院は、厚生労働省の中で保健医療従事者に対する研修教育とその技法の開発に責任を有する国研として、これらの要請に早急に呼応する必要がある。

そこで、国立保健医療科学院が、保健所における臨床研修指導医たる保健所長あるいは保健所医師に対して、必要な知識及び指導技術等を習得させ、地域保健・医療に関して効果的な臨床研修を行えるよう図るものである。

2. 効果

本研修で養成された保健所長を含む保健所医師が、臨床研修指定病院の要請を受け2年次臨床研修医に対して、平成17年度より地域保健・医療に関する臨床研修を行うことができ、地域保健・健康増進の重要性を研修医に理解させる。

このことが、国民全体の健康増進に寄与し医療費削減への一方策となり、さらに、限られた医療費財源を国民に対して有効に最適に使うことが可能となり国民全体の幸福へとつながる。

3. 概要

(1) 対象者 保健所長あるいは原則として3年以上の公衆衛生実務経験を有する保健所医師

(2) 定員 1回40人

(3) 期間 1回4日間

第1回 平成16年7月27日(火)から平成16年7月30日(金)まで

第2回 平成17年1月25日(火)から平成17年1月28日(金)まで

* 2回とも同一カリキュラムで実施するので、参加は一人一回のみとなる。

(4) 研修目標 臨床研修指導医(保健所)の研修指導能力の向上を目指す。

臨床研修指導医(保健所)が、指導医としての役割を実践し効果的な臨床研修を行えるために、新しい卒後臨床研修制度及びその理念と行動目標、経験目標を理解し、プライマリケアの修得に必要な望ましい研修プログラム(地域保健・医療)に基づき、研修医を学習原理に従って効果的に指導し評価する能力を身につける。

(5) 研修内容 新医師臨床研修制度と保健所指導医
地域保健医療分野における指導医の役割
学習理論
指導方法、評価方法
研修カリキュラムの計画方法(カリキュラム・プランニング)
ケースメソッドによる公衆衛生教育

指導医としての役割	研修プログラムの行動目標	研修内容
1. 公衆衛生分野における原理・原則	最新の現場の知識を有し、適応する	ケースメソッドによる公衆衛生教育
2. 研修到達度の評価	学習原理(学習の定義、学習目標、方略、評価)を理解する。 研修カリキュラムの内容を知る。(理念と行動目標、経験目標) 新しい卒後臨床研修制度について理解する。 カリキュラムプランニングを理解する 担当分野での指導内容を確認する。	学習理論 新医師臨床研修制度と保健所指導医 カリキュラム・プランニング
3. 研修医への指導・評価	研修医への指導方法、評価方法を理解し、適応する。	指導方法、評価方法
4. ロールモデル	研修医のロールモデルとなることを確認する。	地域保健・医療分野における指導医の役割

平成16年度 臨床研修指導医(保健所)養成コース
 日程 第1回 平成16年7月27日(火)から平成16年7月30日(金)まで
 第2回 平成17年1月25日(火)から平成17年1月28日(金)まで

ディレクター:川南
 チーフタスクフォース:川南
 3階 3-1講義室

研修1日目

時刻	プログラム	研修内容	方法	主担当者	タスクフォース	必要な時間
13:00	開講式	厚生労働省挨拶(宇都宮 医師臨床研修推進室長) 院長挨拶 コース主任挨拶、講師紹介、その他説明				30
13:30	アイスブレイキング	アイスブレイキング 他己紹介 最も印象に残った学習体験(絵)	オリエンテーション GW,PL GW,PL	川南	橘 川南 曾根	10 30 30
14:40	臨床研修「地域保健・医療」に関するニーズとダイヤモンド	臨床研修「地域保健・医療」でのニーズとダイヤモンド 地域保健・医療分野における指導医の役割 テーマの提示	オリエンテーション GW PL 討論、総括	川南	橘 川南 曾根	20 50 20 10
16:20		休憩				10
16:30	新医師臨床研修制度と保健所指導医	行動及び経験目標の提示	ML	徳永		30
17:00	学習理論	成人教育	ML	川南		30
17:30		休憩				10
17:40	死亡診断・死体検案	死亡診断・死体検案	ビデオ グループワーク	吉田		60
18:40		明日の説明、第1日目の評価票記入		川南		10

研修2日目

時刻	プログラム	研修内容	方法	主担当者	タスクフォース	必要な時間
9:30	ふり返り	前日の参加度を評価		川南		10
9:40	カリキュラム・プランニング	学習理論、目標設定	ML	川南		40
10:20	テーマ設定・目標設定	テーマの設定 具体的に何を研修医に学習させるのか目標設定 テーマの具体的例示として 1. 健康情報への対応 2. HIV感染者、難病患者、結核患者等への対応 3. 禁煙指導・教室 4. アウトブレイク時での対応のしかた 5. 死亡小票の活用 6. 保健所各種事業の評価	オリエンテーション GW	川南	橋川南 曾根	10 60
11:30		休憩				
11:40	テーマ設定・目標設定	テーマの設定 具体的に何を研修医に学習させるのか目標設定	PL 討論、総括	川南	橋川南 曾根	30 20
12:30		昼食				
13:30	ケースメソッドによる 公衆衛生教育	ケースメソッドを使った模擬演習	ML	川南		30
14:00	ケースメソッドによる 公衆衛生教育 (地域保健・医療分野における 指導医の役割)	テーマ別に研修医に考えさせるケース、設問の設定 各テーマ別に作成、具体例として 1. 健康情報への対応 2. HIV感染者、難病患者、結核患者等への対応 3. 禁煙指導・教室 4. アウトブレイク時での対応のしかた 5. 死亡小票の活用 6. 保健所各種事業の評価	オリエンテーション GW	川南	橋川南 曾根	10 80
15:30		休憩				
15:40	ケースメソッドによる 公衆衛生教育 (地域保健・医療分野における 指導医の役割)	テーマ別に研修医に考えさせるケース、設問の設定 各テーマ別に作成、具体例として 1. 健康情報への対応 2. HIV感染者、難病患者、結核患者等への対応 3. 禁煙指導・教室 4. アウトブレイク時での対応のしかた 5. 死亡小票の活用 6. 保健所各種事業の評価	PL 討論、総括	川南	橋川南 曾根	60 20
17:00		休憩				
17:10	学習方法(方略)	学習方法(方略)	ML	川南		20
17:30	明日の説明、第2日目の評価票記入				川南	10
17:40	意見交換会					

研修3日目

時刻	プログラム	研修内容	方法	主担当者	タスクフォース	必要な時間	
9:30	ふり返り	前日の参加度を評価		川南		10	
9:40	学習方法(方略)	具体的な学習方法(方略)を設定	オリエンテーション	川南	橋川南 曾根	10	
		テーマの具体的な例示として 1. 健康情報への対応 2. HIV感染者、難病患者、結核患者等への対応 3. 禁煙指導・教室 4. アウトブレイク時での対応のしかた 5. 死亡小票の活用 6. 保健所各種事業の評価	GW	90			
11:20	休憩						10
11:30	学習方法(方略)	具体的な学習方法(方略)を設定	PL	川南	橋川南 曾根	30	
		テーマの具体的な例示として 1. 健康情報への対応 2. HIV感染者、難病患者、結核患者等への対応 3. 禁煙指導・教室 4. アウトブレイク時での対応のしかた 5. 死亡小票の活用 6. 保健所各種事業の評価	討論、総括	30			
12:30	昼食						60
13:30	評価方法	評価方法	ML	川南		20	
13:50	評価方法	具体的な評価方法を設定	オリエンテーション	川南	橋川南 曾根	10	
		テーマの具体的な例示として 1. 健康情報への対応 2. HIV感染者、難病患者、結核患者等への対応 3. 禁煙指導・教室 4. アウトブレイク時での対応のしかた 5. 死亡小票の活用 6. 保健所各種事業の評価	GW	60			
15:00	休憩						10
15:10	評価方法	具体的な評価方法を設定	PL	川南	橋川南 曾根	30	
		テーマの具体的な例示として 1. 健康情報への対応 2. HIV感染者、難病患者、結核患者等への対応 3. 禁煙指導・教室 4. アウトブレイク時での対応のしかた 5. 死亡小票の活用 6. 保健所各種事業の評価	討論、総括	30			
16:10	休憩						10
16:20	目標・学習方法(方略)・ 評価方法の設定 ケースメソッドによる公衆衛生教育	テーマ別に目標・学習方法(方略)・評価方法の設定、 ケースメソッドによる公衆衛生教育のまとめ作業	オリエンテーション	川南	橋川南 曾根	10	
		各テーマ別に作成、具体例として 1. 健康情報への対応 2. HIV感染者、難病患者、結核患者等への対応 3. 禁煙指導・教室 4. アウトブレイク時での対応のしかた 5. 死亡小票の活用 6. 保健所各種事業の評価	GW	60			
17:30	明日の説明、第3日目の評価票記入			川南		10	

研修4日目

時刻	プログラム	研修内容	方法	主担当者	タスクフォース	必要な時間
9:30	ふり返り	前日の参加度を評価		川南		10
9:40	発表準備	グループワーク内容の修正、発表準備	GW	川南		20
10:00	目標・学習方法(方略)・ 評価方法の設定 ケースメソッドによる公衆衛生教育	テーマ別に目標・学習方法(方略)・評価方法の設定、ケースメソッドによる公衆衛生教育の総合的な発 各テーマ別に作成、具体例として 1. 健康情報への対応 2. HIV感染者、難病患者、結核患者等への対応 3. 禁煙指導・教室 4. アウトブレイク時での対応のしかた 5. 死亡小票の活用 6. 保健所各種事業の評価	PL 討論、総括	川南	橋 川南 曾根	60 30
11:30	WS内容の修正	発表内容の修正、提出	GW	川南		30
12:00 12:30	閉講式	受講者の意見、各講師からの総評 最終日の評価票記入		川南		30